

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	川西市低炭素型複合施設	階数	地上4F
建設地	兵庫県川西市火打1丁目8番の一部	構造	S造
用途地域	第二種住居地域・近隣商業地域、地	平均居住人員	- 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,300 時間/年(想定値)
建物用途	事務所・集会所、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年8月 予定	評価の実施日	2017年2月15日
敷地面積	14,184 m ²	作成者	(株)大建設 今津
建築面積	4,991 m ²	確認日	2017年2月27日
延床面積	11,259 m ²	確認者	(株)大建設 今津



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 3.3 ★★★★★

S: 3.0 A: 3.3 B+: 3.5 B: 3.7 C: 4.0

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

参考値: 138 (kg-CO₂/年・m²)

建設物の取組み: 46

上記+ 以外の: 69%

上記+: 69%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 3.3

Q2 サービス性能: 3.7

Q3 室外環境(敷地内): 4.5

LR1 エネルギー: 4.9

LR2 資源・マテリアル: 3.8

LR3 敷地外環境: 3.5

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.5

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 4.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> 川西市の低炭素まちづくり計画にて示されている「持続可能なまちづくり」の目標・基本方針を踏まえ、キセラ川西地区からはじまるエコライフスタイルの発信をコンセプトとし、誰もがまちに繰り出したいくなる豊かな歩行者空間の充実を図ります。 環境への負荷を低減し、自然・周辺環境に配慮した「まち」と「ひと」にやさしい施設づくりを行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 建設発生土情報交換システムの活用による発生土相互利用の促進 + 県産木材の使用によるCO₂の固定化と資材搬送エネルギー削減。(CO₂削減手法) 電気自動車充電スタンド設置。(エコカー利用促進)
Q1 室内環境 <ul style="list-style-type: none"> 汚染物質の放散量が少ない材料。(発生源対策) 外壁の高断熱化 + 複層ガラスの採用。(室温制御) 	Q2 サービス性能 <ul style="list-style-type: none"> エコと快適性に優れた内装計画。(心理性・快適性) 鉄骨躯体等の耐久性向上。(部品・部材の耐用年数) 防汚性に優れた仕上材の採用。(維持管理)
LR1 エネルギー <ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電パネル + 蓄電池。(自然エネルギー利用) LED照明の採用。(設備システムの高効率化) BEMSの導入。(効率的運用) 	LR2 資源・マテリアル <ul style="list-style-type: none"> 節水型便器の採用。(水資源保護) 電炉鉄骨の躯体(小梁等)利用。(リサイクル材の採用) 可動間仕切などの採用。(部材の再利用可能性向上)
	Q3 室外環境(敷地内) <ul style="list-style-type: none"> 緑豊かな外構計画。(生物環境の保全と創出) 良好な街並み景観の創出。(まちなみ・景観への配慮) 地表面温度上昇の抑制。(敷地内温熱環境の向上)
	LR3 敷地外環境 <ul style="list-style-type: none"> 高効率設備システム等の採用による一次エネルギー消費量を低減。(地球温暖化への配慮) 適切な駐車場計画。(地域インフラへの負荷抑制) 近隣に配慮した照明計画。(光害の抑制)

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質), **L: Load** (建築物の環境負荷), **LR: Load Reduction** (建築物の環境負荷低減性), **BEE: Built Environment Efficiency** (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される